

## 令和7年度第12回 金沢医療センター治験審査委員会

### 【会議の記録の概要】

開催日時：2026年03月17日 16時30分～16時46分

開催場所：金沢医療センター 大会議室(大)

出席委員：大西 一郎 加賀谷 尚史 藤沢 弘範 坂尻 顕一 堀岡 直行  
沖垣内 一幸 酒井 陽子 中村 明子 吉野 ゆかり

欠席委員：松本 康 八田 裕之

### — 議題及び審議結果を含む主な議論の概要 —

#### 【審議事項】

議題1：ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第2b/3相, ランダム化, 二重盲検, プラセボ対照, 並行群間比較, 多施設共同試験 (整理番号: 19007)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題2：サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社の依頼によるB型慢性肝炎患者を対象としたGSK3228836の長期追跡調査試験 (整理番号: 21003)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題3：バイエル薬品株式会社の依頼による非糖尿病性慢性腎臓病患者における腎疾患の進行に関して、標準治療に上乗せしたfinerenoneの有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較、第III相試験 (整理番号: 21004)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

議題4：グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼によるPhase 3

Multicenter, Randomized, Double-Blind, Study to Assess the Efficacy and Safety of Treatment with Bepirovirsen in Nucleos(t)ide Analogue-treated Participants with Chronic Hepatitis B Virus (B-Well2) (整理番号: 22010)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題5：ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブ皮下投与による導入療法の有効性及び安全性を評価する第3相試験 (整理番号: 22013)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。治験薬概要書、治験実施計画書別冊、治験参加カード、その他文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題6：(治験国内管理人)IQVIAサービシーズジャパン合同会社の依頼によるA randomized, double-blind, multicenter phase III study to evaluate the long-term efficacy and safety of ABX464 25 mg or 50 mg once daily as a maintenance therapy in subjects with moderately to severely active ulcerative colitis 中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法としてABX464 25 mg又は50 mgを1日1回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設共同、第Ⅲ相試験(整理番号:23005)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題7：アストラゼネカ株式会社の依頼による酸素投与が必要なウイルス性肺感染症による入院患者を対象としてTozorakimabの有効性及び安全性を評価する試験(TILIA試験)(整理番号:23007)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

議題8：ヤンセンファーマ株式会社の依頼による心房細動を有する参加者を対象とした経口第Ⅸa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性をアピキサバンを対照に評価する第3相、ランダム化、二重盲検、ダブルダミー、並行群間、実薬対照試験(整理番号:23011)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

議題9：日本イーライリリー株式会社の依頼によるLY3819469の第Ⅲ相試験(整理番号:23015)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

議題10：(治験国内管理人)パレクセル・インターナショナル株式会社の依頼による未治療の転移性非扁平上皮非小細胞肺癌(NSCLC)を有する成人患者を対象として、GME751(ペムブロリズマブのバイオ後続品候補)の有効性、安全性及び免疫原性をEUで既承認のキイトルーダ®と比較する無作為化、二重盲検、並行群間比較試験(整理番号:24002)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

議題11：ヴィアトリス製薬合同会社の依頼によるIgA腎症患者を対象としたVR-205の第Ⅲ相試験(整理番号:24003)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。治験実施計画書別紙の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題12：(治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン合同会社の依頼による、症候性心不全を対象としたVicatedrost(BI 690517)の第Ⅲ相試験(整理番号:24004)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

議題13 : MSD株式会社の依頼による高コレステロール血症の成人患者を対象にMK-0616を投与した際の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相、非盲検延長試験(整理番号: 24005)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果 : 承認

議題14 : (治験国内管理人)パレクセル・インターナショナル株式会社の依頼によるA study to assess toripalimab alone or in combination with tificemalimab as consolidation therapy in patients with limited-stage small cell lung cancer (LS-SCLC) 限局型小細胞肺癌 (LS-SCLC) 患者における Toripalimab 単剤療法または Toripalimab + Tificemalimab 併用療法を用いた地固め療法の評価(整理番号: 24006)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果 : 承認

議題15 : ノーベルファーマ株式会社の依頼によるNPC-25 の小児低亜鉛血症患者に対する第Ⅲ相試験(整理番号: 24007)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果 : 承認

議題16 : 日本イーライリリー株式会社の依頼によるLY3041658(Eltrekibart)の第Ⅱ相試験(整理番号: 24009)

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。治験実施計画書の明確化に関する通知の追加に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審査結果 : 承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題17 : あすか製薬株式会社の依頼によるAKP-022の子宮筋腫患者を対象とした有効性及び安全性をプラセボと比較する第Ⅲ相臨床試験(整理番号: 24010)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果 : 承認

議題18 : Hexal AGの依頼による未治療の転移性非扁平上皮非小細胞肺癌(NSCLC)を有する成人患者を対象としたGME751(ペムブロリズマブ)の第Ⅲb相試験(ロールオーバー試験)(整理番号: 24011)

治験実施計画書等に基づき治験実施の妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果 : 承認

議題19 : キッセイ薬品工業株式会社の依頼によるKLH-2109の子宮内膜症患者を対象とした第Ⅲ相検証試験(整理番号: 25001)

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

議題20：ブリストル・マイヤーズ スクイブ 株式会社の依頼による左室駆出率の保たれた心不全(HFpEF)の治験参加者におけるBMS-986435/MYK-224の安全性、忍容性、薬物動態、及び薬力学を評価するための第2A相、二重盲検、ランダム化、プラセボ対照、多施設共同試験(整理番号:25002)  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。  
審査結果：承認

議題21：富士製薬工業株式会社の依頼による日本人子宮内膜症患者を対象に、FSN-013を周期経口投与した際の有効性及び安全性を評価することを目的とした、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験(整理番号:25005)  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。被験者募集の手順に関する資料の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題22：(治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン合同会社の依頼による、症候性慢性心不全(rEF)を対象とした第Ⅲ相試験(整理番号:25006)  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。  
審査結果：承認

議題23：アムジェン株式会社の依頼による肥満症患者を対象としたmaridebartcafraglutideの第Ⅲ相試験(整理番号:25007)  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。  
審査結果：承認

議題24：ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期潰瘍性大腸炎患者を対象にicotrokinra による寛解導入療法及び寛 解維持療法の有効性及び安全性を評価する、成人を対象とした多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照並行群間比較第3相試験及び青少年を対象とした第3相非盲検試験(整理番号:25009)  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。治験薬概要書、治験実施計画書別冊、治験参加カード、その他文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審査結果：承認  
・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

議題25：(治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン合同会社の依頼による中等度から重度の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたRO7837195の第Ⅱb相試験(整理番号:25010)  
治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。被験者への支払いに関する資料の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審査結果：承認  
・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため、審議及び採決に不参加

- 議題26：CSLベーリング株式会社の依頼による末期腎不全患者を対象としたCSL300の二重盲検第3相臨床試験(整理番号:25011)  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。  
審査結果：承認
- 議題27：アストラゼネカ株式会社の依頼による中等度から最重度の慢性閉塞性肺疾患患者を対象にAZD6793の有効性を検討する試験(整理番号:25015)  
治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。  
審査結果：承認
- 議題28：日本イーライリリー株式会社の依頼による末梢動脈疾患患者を対象としたLY3502970の第Ⅲ相試験(整理番号:25016)  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。  
審査結果：承認
- 議題29：大塚製薬株式会社の依頼による統合失調症患者を対象としたSEP-363856の第Ⅲ相長期投与試験(整理番号:25017)  
治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。治験薬概要書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審査結果：承認
- 議題30：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による2型糖尿病、高血圧及び心血管疾患を有する患者を対象としたvicadrostat(BI 690517)とエンパグリフロジン(BI 10773)の第Ⅲ相試験(整理番号:25018)  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。治験薬概要書、その他文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審査結果：承認
- 議題31：日本新薬株式会社の依頼による閉塞性動脈硬化症を対象としたNS-304の第Ⅲ相試験(二重盲検比較試験)(整理番号:25019)  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。治験実施計画書別紙の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審査結果：承認
- 議題32：日本新薬株式会社の依頼による閉塞性動脈硬化症を対象としたNS-304の第Ⅲ相試験(オープンラベル試験)(整理番号:25020)  
安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。治験実施計画書別紙の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審査結果：承認

【その他】その他1. 独立行政法人国立病院機構金沢医療センターにおける企業主導治験に係る標準業務手順書の改訂について  
その他2. 独立行政法人国立病院機構金沢医療センターにおける医師主導治験に係る標準業務手順書の改訂について  
その他3. 独立行政法人国立病院機構金沢医療センターにおける企業主導治験に係る治験審査委員会標準業務手順書の改訂について  
その他4. 独立行政法人国立病院機構金沢医療センターにおける医師主導治験に係る治験審査委員会標準業務手順書の改訂について  
その他5. 令和8年度 治験審査委員名簿について

【報告事項】報告1. 開発の中止等に関する報告書: CNT01959UCO3004 (2026年2月19日)  
報告2. 令和8年2月末時点の金沢医療センターにおける治験実施状況について  
報告3. 令和7年度 第11回 金沢医療センター 治験審査委員会 会議記録概要 (令和7年度2月IRB)について